



○平成から始まり、令和に遷り早いもので、本年度の半分を過ぎました。
～ 八東小学校も統合3年目を迎え、半年経過しました。 ～

今日から10月。ついこの前、平成31年度が始まり、5月からは令和に遷り、そして、気づけば本年度も半分を過ぎました。早いものです。残り半年、折り返しをすぎ、各学年の後半をどう過ごすのか。児童一人一人が考えてほしいです。家庭でも、家族で是非、振り返りをお願いします。また、6年生も小学校生活も半年。実際に学校に登校する日数は、107日です（10月1日を含めて）。本当にわずかです。この間に、小学校生活の総仕上げです。そして、中学校への準備です。

この半年、振り返れば、保護者・御家族のみなさん、地域のみなさんの御理解、御支援をいただき今日まで滞りなく、八東小学校教育を進めてきています。

心よりお礼申し上げます。残り半年間も、みなさんのお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

○「非認知スキル」と言う言葉、御存知ですか？

さて、「非認知スキル」という言葉、みなさん御存知ですか。もちろん、御存知の方もいると思います。先日、テレビ番組の中で使われていました。明石家さんまさんのトーク番組でした。

さて、「非認知スキル」とは、何か。簡単に言えば、「勤勉性・まじめさ・忍耐力」（私、個人的にはこの3つとも大好きな言葉です。）です。これまでは、個人の正確や気質と捉えられていた能力のことです。これに対して、学力やIQなどテストで測れる能力は、「認知スキル」です。この「非認知スキル」の研究は、2000年にノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のジェームス・J・ヘックマン教授の研究が有名です。人生の早い段階で「非認知スキル」を身につけると、将来の学歴や高所得に結びつくという研究結果です。また、東京大学社会科学研究所が行っている「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」でも、中学生時点での「非認知スキル」の項目が高いグループは、その後の社会人になっての収入でも高い結果となるとまとめています。「勤勉性・まじめさ・忍耐力」の各項目ごとで、その差が出ています。データには、実際に「収入金額」まで記載されていました。ここでは紹介しませんが、やはり、「勤勉性・まじめさ・忍耐力」は、人生にいろいろな影響を及ぼす要素だと言えます。「つながる子」「うみだす子」「やりぬく子」「かかわる子」の中でも、「やりぬく子」＝「コツコツと真面目に勤勉に、辛抱強くやりぬく子」は大切なポイントになっていると思います。

では、この「非認知スキル」をいかに向上させるか。そこで、重要になる「非認知スキル」の項目として、「成功体験と自信」「充実感と向上心」「規範意識」「思いを伝える力」「問題解決力」「社会参画」「生活習慣」「学習習慣」などが有りますが、中でも重要なのは、「生活習慣」と「成功体験と自信」の「非認知スキル」が、大きく子供の成長に関係してくるようです。更に、「学習習慣」と「思いを伝える力」も重要であると、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの研究で指摘されています。

ところで、親としてどのように関わることが、「非認知スキル」を上げることになるのか。実は、「非認知スキル」を上げるのは、親の関わり方次第という調査結果も出ています。どんな関わり方が良いのか。具体的には次のような内容があげられています。

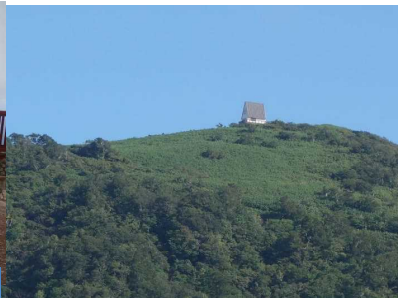
- ・「子供と良質な時間を共有する」（子供が何か話してきたら、手を止めて、子供と向き合い、話を聞く）
- ・「子供を褒める」（具体的に褒める。本人に分かることが大切。間雲に褒める必要はありません）
- ・「子供と話す」（子供の話を受け止める）
- ・「愛情を示す」（小さな時にしっかり抱きしめることも）
- ・「子供に注目していることを伝える」（子供の安心感に繋がります）
- ・「一生懸命になれる活動を与える」（熱中できる機会を与える）
- ・「よい手本を示す」（親として、人として、あいさつから）
- ・「タイミングをとらえて教える」（始めから教えるのではなく、考えさせること）
- ・「わかりやすい決まりを作る」（一方的でなく、家庭で話し合っ



「非認知スキル」は、小学校低学年時代は、そんなに大きな学力差にはつながりません。しかし、小学校高学年から中学になると、「生活習慣・成功体験と自信・学習習慣・思いを伝える力」の「非認知スキル」の差が、顕著に、学力差となって現れてきます。そうした研究もあります。

「非認知スキル」といわれて、何だろうかと思うかもしれませんが、昔からいう、「勤勉性・まじめさ・忍耐力」等は、いつの時代でも大事な力だということを、改めて思います。

○秋のさわやかな天候の元での4年生氷ノ山登山無事終了 ～ 充実した2日間でした ～



9月19日(木)・20日(金)に今年も4年生が氷ノ山登山に挑戦しました。両日とも天候に恵まれ、予定のコースを登頂し、素晴らしい宿泊体験学習となりました。

今年もたくさんのボランティアさんのみなさんにお手伝いいただき、氷ノ山登頂をめざした児童は、全員が無事に登頂できました。無事に登頂して山頂からの景色を登頂した児童全員で満喫し、無事に下山しました。郡家東小学校の4年生とも出会いました。夜は、「響の森」のナイトプログラムに参加し、真っ暗な夜の森をドキドキ体験。小学校生活で初めての集団での宿泊も経験しました。

2日目は、響の森でのネイチャーゲームを体験し、手や顔を真っ黒にしながらかき杉の創作体験も経験し、充実した2日目を過ごしました。

2日間の氷太くんでの集団生活・宿泊体験は、4年生にとって貴重な経験となりました。5年にはスキー宿泊、6年には修学旅行とスキー宿泊が待っています。集団生活のルールやマナーを学ぶ大切な学習がこれからもたくさんあります。

最後に、氷ノ山登山に御協力いただいた、つながり隊の以後敬一さん、安住正治さん、田中正幸さん、山田寿子さん、加藤祥教さん、そして、響の森のガイド・松平さん。児童の安全・安心な登山への御支援に、こころより感謝申し上げます。

氷ノ山登山での山頂での記念撮影、氷太くんでの記念撮影。秋の青空の下で、すばらしい2日間でした。

○八頭郡小学校陸上大会結果より
～ 9月25日(水)八頭高校グラウンドにて ～

前日の雨もすっかり上がり、秋晴れのさわやかな空のもと、絶好の大会日とで向かえた陸上大会。みんなで声を出し、元気に応援した陸上大会。八頭郡の子供たちの活躍をお伝えします。

(6位以内入賞)

尚、記録後ろの※マーク児童は、八頭郡の代表として10月17日(木)布勢のコカコーラボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場で開催予定の県運動記録会・陸上の部に参加します。また、練習を始めます。応援をよろしくお願いします。

(5年)

(女子)

100m走・第5位・坂田結衣・17秒1 ※
600m走・第2位・西田佳夏・2分15秒8 ※
第5位・石山礼実・2分22秒1 ※
走り幅跳び・第4位・山根優菜・3m01
第5位・橋本梨花・2m86

(男子)

走り高跳び・第1位・大石佳奈・1m05 ※
走り高跳び・第3位・坂本観人・1m05 ※
ソフトボール投げ・第1位・油谷勇吾・47m22※

4×100mリレー 旧Bクラス順位(全体順位)

女子・第1位(第2位)・64秒5(新記録) ※
盛田愛菜・大石佳奈・山根優菜・坂田結衣
男子・第3位(第5位)・67秒9
表優真・坂本観人・中野幸志朗・木原光葵

(6年)

(女子)

100m走・第2位・川西優奈・16秒3 ※
第5位・飯田愛和・16秒8 ※
600m走・第3位・藤原愛・1分59秒6 ※
ソフトボール投げ・第5位・山口莉音・25m24 ※

(男子)

100m走・第2位・佐藤パトリック・14秒6 ※
第4位・八田委久・15秒0 ※
走り幅跳び・第3位・青木海斗・3m75 ※
走り高跳び・第3位・大村宗磨・1m15 ※

4×100mリレー 旧Bクラス順位(全体順位)

女子・第2位(第3位)・62秒9 ※
藤田さち・飯田愛和・樋引美菜穂・藤原愛
男子・第2位(第2位)・59秒3 ※
青木海斗・八田委久・大村宗磨・佐藤パトリック

